

巻頭言

「カバンからデイパックへ」

理事長 新谷 友良

使っているデイパックも大分くたびれてきて、新しいもの買い替えようと考えています。会社生活の間は、手提げカバンが必需品でした。いつからデイパックに変えたのかははっきりしませんが、会社を退職して手話を習い始めた頃、両手を自由に動かしたくてデイパックが便利かな? と思った記憶があります。

昔から、手帳と文庫サイズの本1冊は必ずカバンに入れていました。それから、軽い折り畳み傘。スーツを着なくなったので、財布やカード入れはデイパックに移動です。スマートフォンや人工内耳関連のアクセサリ、目薬、爪切りなども。その日に使うだけのお金をズボンのポケットに入れて、本1冊を持って外出したのは遠い昔のことで、こんなに多くのものを携帯しないと外出が出来なくなった自分に愕然とします。

デイパックは何種類か試しましたが、一長一短未だにこれといったものが見つかりません。細かなポケットが多くついたものは小物を入れておくには便利ですが、どこに何を入れるのか落ち着くまでに時間がかかり、急ぎの折りなど入れた場所がわからず焦ることがあります。仕切りの少ないパックは大きなものの収納に楽ですが、書類などを入れるには別の硬めのケースが必要です。それ以外に最近は飲み物ボトルも必要で、あれもこれも考えると自分の部屋をレイアウトするときと同じような悩みを抱えてしまいます。

外出のときに携帯するものが増えたのは、ひとつは年齢のせい、もう一つは聞こえなくなったのが原因と思っています。メガネや何種類かの薬は加齢関連、ロジャーやMリンクは聞こえ関連です。外出先で困った経験がもたらした学習効果といえそうですが、そんなものがなくても何とかなるさ、という気持ちの強さがだんだん衰えているのを感じます。聞こえの関連グッズは、人工内耳の電池や接続ケーブルが中心ですが、必要な時にそれらの取り換えが出来ないと全く聞こえなくなるので、神経質になってしまいます。人は老いるにしたがって、身に着けているものを少しずつ減らしていくのが処し方とすれば、あれもこれも備えをするのではなく、困ったときはその場で考えようと、思い切って小さな軽いデイパックにするのも一案でしょうか?